

平成27年度 自己評価公表シート 新森幼稚園

1、 『明るく健康で心身ともにたくましく、自主的に且つ創意工夫する人間味豊かな人間像をめざし、幼児の育成に当たる』を大きな目標として掲げ、教育方針として下記の項目を掲げる。

*美しい情操、豊かな感情を養う

*保育の全領域に心身の発達に即した思考教育を取り入れ、知的開発を行う。

*集団生活の中で、仲よく助け合える協調性を養う。

*人格形成の基礎となる躰・心を大切にする。

*一人ひとりの個性を大切にし、いつの時代にも柔軟に対応できる子を育てる。

2、27年度重点的に取り組んだ内容

・最近では、共働きの家庭も年々増え、預かり保育に参加する子ども達が増え、長時間園で預かる場になってきている。幼稚園の外に出ても、安心して過ごせるようにするために自主的に考え判断する能力を高め、交通安全や災害等に対しても指示を聞き判断し身を守ることができるよう幼稚園での指導で援助していきたい。

・外で遊ぶ機会が減って、友達との交流の仕方を幼稚園外で学ぶ機会が減ってきているので、幼稚園が主体となって行事や未入园児さん参加の親子教室等を通し、個人個人の子どもの様子や、状態を理解していただくことに加え、人間関係作りのきっかけが作れるような場を提供して将来の社会への積極的参加の礎となりたい。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

①、健康・安全 評価A

旭区の警察者や消防署の方に来園してご指導頂き、交通安全指導や防犯講習会、避難訓練等での指導を受けた。

教員は、消火器の使い方や、火の消し方の訓練、訓練通報等実地訓練も受けた。

3月11日の東日本大震災等機に、自然災害に対応する必要があり、津波がおこった場合の避難訓練も実施し、一人ずつの意識を高められるようにした。

又、年間を通し、裸足・裸保育を実施し、心身ともに健康に保てるよう取り組んでいる。

②、保護者の満足度の把握 評価A

個人懇談会やクラス懇談会を通して、直接意見や悩みを伺ったり、もりの子会（PTA）の会合を通じて様々ご意見を伺い対応した。

③、家庭との更なる連携 評価A

・SI遊びという活動を通し、自分で考えてやってみるという力がつくように指導している。

・知能教育協会から代表理事の白濱先生に来て頂き、実際に子どもの指導をしていただき、保護者の方にも参観して頂き、知能を高める教材の活かし方や家庭での言葉掛けについて

も指導いただいた。

- ・専門的な知識を要する対応が必要となるケースも増え、手厚いフォローを望まれるニーズにお応えするため、知能脅威行く協会のアドバイスに加え、大阪市の相談員の方をはじめ、園独自のカウンセラーとして龍谷大学の森田喜治先生（卒園者）に面談や電話相談で専門的アドバイスをいただいて、職員で話し合い、保育に活かせるよう勤めた。

④、地域の教育拠点を目指して 評価A

- ・もりのこ会（PTA）の方々の積極的支援により、もりの子秋祭り～ハロウィーン～で在園児さんだけでなく、地域の小さな子ども達、卒園児さんたちにも楽しめる行事を実施して頂き、幼稚園が地域に根差して地域の役に立つようにとの願いがかなった。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果 全体評価A

取り組むべき課題に対して、自分で考えて自分で行動できるようになることの大切さを求められる時代となってきたことから、将来の高校大学への進学等を含め、社会へ積極的に関わることに喜びを感じてほしいと考えた。その結果、より多くの専門家の特別指導を受ける機会を増やし（温水プール指導 英語 体操 絵画）一人一人の個性に応じて、将来も自信をもって歩いていける子供像を目指し、成果があった。

5 今後取り組むべき課題

3歳という大切な時期の過ごし方が将来への大きな基礎となることを痛感し、2歳児の研究に加え、更に3歳へのスムーズな教育のつながりについて検討していきたい。

また、4歳5歳からの新規転入者の方に対しては、3歳児4歳児分の保育を如何に短期で密度濃く指導できるかが課題となってくると考え、その対応について十分に検討していきたい。

6 学校関係者評価

保護者代表（S氏）園児のおかれている現状を見据え、地域に根差した活動を大切にするとともに、文部科学省の新方針にも沿って研究実践されている姿勢は大変素晴らしい。

白濱洋征 発達を総合的にとらえ、小さな言葉掛けや先生友達の態度の容認的な部分の大切さをよく認識し、できる子が自信過剰にならず謙虚に努力を惜しまず、その課題が苦手な子はそれを克服できることが大きな喜びになるような適切な指導をおこなっている事は大変評価できると感じました。今後も努力邁進して下さい。

7 財務状況 公認会計士監査により適正に運営されている（別紙監査報告書）